



平成24年（行ウ）第33号 補助金交付決定取消（住民訴訟）請求事件

原告 長瀬猛

被告 神戸市

平成24年（行ウ）第86号 補助金交付差止（住民訴訟）請求事件

原告 岡田和典 外1名

被告 神戸市長

## 証拠申出書

平成25年8月23日

神戸地方裁判所第2民事部合議C係 御中

原告ら訴訟代理人

弁護士 徳 永 信 一

### 1 (1) 人証の表示

大阪府八尾市西山本町7-6-5 「守る会」関西支部内

証人 萩原 遼 （同行・60分）

### (2) 立証事項

萩原遼は1971年に赤旗平壤特派員として平壤で勤務した経験があり、そのとき、帰国事業に参加して北朝鮮に帰国した在日朝鮮人の親友を探し回ったため、スパイ容疑で国外追放されたことから、北朝鮮問題のエキスパートとなった。在日朝鮮人の親友をめぐる数奇な出会いと北朝鮮の実態を描いたノンフィクション『北朝鮮に消えた友と私の物語』（文春文庫）は第30回大宅壮一ノンフィクション賞を受賞した。米国立公文書館に眠る米軍奪取文書から朝鮮戦争の真実をまとめて発表した『朝鮮戦争—金日成とマッカ

一サーの陰謀』（文春文庫）も高い評価を得ている。

1994年2月、小川晴久元東京大学教授、金民柱元朝鮮総連幹部らとともに「北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会」を結成し、1959年12月から84年にかけて日本から北朝鮮に帰国した10万人の在日朝鮮人と日本人妻たちの悲惨の現状を救う活動を続け、現在、同会の名誉代表を務めている。

2010年4月、当時の民主党政権が朝鮮高級学校にも高校無償化の対象とする動きに待ったをかけるべく、「朝鮮高校への税金投入を反対する専門家の会」を結成し、入手した朝鮮高級学校で用いられている歴史教科書を翻訳して発行した。

神戸市ないし兵庫県内にある朝鮮学校は、いずれも、他の都道府県にある朝鮮学校と同じく、朝鮮労働党の指揮下にある朝鮮総連の傘下団体である。朝鮮学校を開設している学校法人兵庫朝鮮学園の運営機関である理事会は形式に過ぎず、朝鮮総連の教育局が学校人事、財政、教育内容、生徒指導の全てを支配して不当な政治的影響力を行行使している。

その結果、朝鮮学校では北朝鮮当局の検閲と指示によって作成された教科書が使用されており、高級学校や中級学校で使用されている歴史教科書は、偶像化された金日成、金正日父子の偉大性に対する礼賛のオンパレードであり、架空の政治的神話が史実として教えられている。朝鮮戦争についてもアメリカと韓国が仕掛けたという史実に反するプロパガンダが未だに堂々と掲載されているありさまである。

日本人拉致事件についても金正日が北朝鮮による拉致の事実を認めて謝罪したことには触れず、日本当局が「拉致問題」を極大化して宣伝しているなどしており、日本における共生を真っ向から否定する教育を行っている。

朝鮮総連は、教育内容にかかわる教科書、カルキュラム、課外活動（総連が支配する少年団、朝鮮青年同盟への強制加入や金正恩を礼賛する迎春公演のための訪朝）を公開しておらず、生徒や保護者にも秘匿を徹底させているが、多くの卒業生や元朝鮮総連幹部らが告発している朝鮮学校での教育は、民族教育などではなく、金一族による個人独裁を正当化する政治教育であり、

思想的洗脳というべきものである。

原告らは萩原遼の証言をもって、兵庫県内の朝鮮学校における教育の現状が北朝鮮ないし朝鮮総連による不当な支配を受けたものであり、教育基本法16条はもとより憲法89条後段（公の支配に属しない教育事業への公金支出規制）及び同26条（公正な教育を受ける権利）、北朝鮮人権侵害対処法の精神に違反する違法なものであり、わが国での公益性が認められないものであることを立証する。

(3) 尋問事項 別紙尋問事項書記載のとおり

以上

## 尋問事項書（証人 萩原遼）

- 1 証人の経歴、著作について
- 2 「北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会」結成について
- 3 「朝鮮高校への税金投入に反対する専門家の会」結成と教科書「朝鮮高級学校現代歴史」の翻訳について
- 4 朝鮮高級学校と朝鮮中級学校における歴史教育の問題点（史実の捏造と歪曲、金日成・金正日の偶像化）について
- 5 朝鮮総連が北朝鮮当局（朝鮮労働党）の支配下であり、北朝鮮当局の指示を受けて活動していること
- 6 朝鮮学校が朝鮮総連の傘下であり、学校人事、財政、教育内容、生徒指導の全てにわたって朝鮮総連に支配されていること
- 7 朝鮮学校が朝鮮労働党の日本組織「学習班（組）」と朝鮮総連・朝鮮青年同盟・少年団の組織に組み込まれ、組織的支配がなされている実態について
- 8 朝鮮高級学校の校長は、朝鮮総連の幹部を兼任しており、朝鮮労働党の党员であること
- 9 朝鮮学校での歴史教育は、金日成、金正日の偶像化を目的としており、金日成の抗日闘争、朝鮮戦争、党内権力闘争、金正日誕生、北朝鮮経済と人権状況などをめぐり事実が著しく歪められていること
- 10 朝鮮学校の卒業生や元教員らの多くが、朝鮮学校での教育は、あるべき民族教育ではなく、独裁を正当化する宗教的政治思想である主体思想を植えつける洗脳教育であり、朝鮮学校は朝鮮大学を頂点とする北朝鮮工作員養成機関だと批判していること
- 11 日本人拉致事件について、これを事実として認めておらず、逆に、反共和国宣伝に用いているとするなど、問題の多い不誠実な教育を行っていること

- 12 朝鮮学校における教育の実情が非公開であり、教科書、カリキュラム、課外授業、進路指導の実態が秘匿されたまま、兵庫県や神戸市が朝鮮学校に巨額の補助金を交付してきたことの異常性について
- 13 朝鮮総連兵庫県本部や大阪府本部が強調する「阪神教育闘争」の真相について
- 14 1986年、金正日の「9月マルスム」を受けた朝鮮総連は自らパチンコや地上げに乗り出し、朝銀信用組合の財布代わりに利用した。朝銀信用組合はバブルの崩壊とともに巨額の不良債権を抱えて破綻したが、朝鮮総連の借り入れにあたり、学校関係者が知らないうちに多くの朝鮮学校の校舎や校庭等が担保提供されていたこと
- 15 朝鮮総連の内部文書「2013年度在日本朝鮮人教育会 中央常任理事会 事業方向及び事業計画」の内容について
- 16 「北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会」が朝鮮学校に対する税金投入に反対するパンフレット「朝鮮学校の秘められた目的・知られざる実態」を発行した理由と背景について
- 17 朝鮮労働党の日本組織「学習班（組）」と朝鮮総連・朝鮮青年同盟・少年団の組織に組み込まれた朝鮮学校の実態について
- 18 その他、関連事項

以上